

TRV-845SE

使用説明書

平成29年5月31日 第4.1版

真空管のヒーターの明るさが違うものがありますが性能には影響ありません

TRIODE

株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山609-3

TEL: 048-940-3852

FAX: 048-940-3853

Eメール: service@triode.co.jp

不明点やご質問は当社ユーザーサポート係宛、下記時間内にお問合せ下さい
ユーザーサポート受付時間: 月曜～金曜 TEL 10:00～16:00

御注意（感電について）

このアンプは高電圧（直流1000V）を使用するため、感電されないよう細心の注意が必要です。なお内部接触による人体の損傷や火傷などの責任は負えませんので絶対に裏蓋を開けないでください。予め御了承ください。

注意事項

万一次の様な異常が起きたら次の指示に従って下さい。

- ・煙が出たり変なにおいがする。
- ・機器の内部に異物や水が入った。
- ・落としたりキャビネットを破損した。

すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを本体から抜いて下さい。
異常状態のままお使いになると、火災・感電の原因になります。
当社サービス担当に修理をご依頼下さい。

この機器は、日本国内のみの使用に限ります。表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないで下さい。指定以外の電圧や直流電源などに接続した場合、火災・感電の原因になります。

この機器の通風口をふさがないで下さい。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落としたりしないで下さい。火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、電源コードの上に重い物を置いたり、電源コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。電源コードに傷がついて火災・感電の原因になります。万一、電源コードが破損（芯線露出や断線など）したら、当社サービス担当まで御連絡下さい。
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないで下さい。電源コードが破損すると火災・感電の原因になります。万一、電源コードが破損（芯線露出や断線など）したら、当社サービス担当まで御連絡下さい。
電源プラグの端子及び端子の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いて下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
この機器の上に花瓶や水などの入った容器を置かないで下さい。内部に水が入ると火災・感電の原因になります。
この機器を改造しないで下さい。火災・感電の原因になります。
この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、他の機器との間を離しておいて下さい。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

注意

電源を入れる場合は音量を最小にして下さい。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
オーディオ機器等の機器を接続する場合は、各々の機器の取り扱い説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続して下さい。また、各接続は指定のコードを使用して下さい。
この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにして下さい。
次のような場所に置かないで下さい。火災、感電やけがなどの原因になることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所 ・湿気やほこりが多い場所 ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
電源コードを熱器具に近づけないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。
電源コードを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いて下さい。
濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になることがあります。
本機を移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部との接続コードを外してから行って下さい。コードが傷つき、火災・感電の恐れがあります。
旅行などでこの機器を長期間御使用にならない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いておいて下さい。
お手入れの際は安全のために電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。

※ 付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

保証について

本製品のパーツ交換を含む改造などをされた時点で保証の対象外となりますので御注意下さい。この場合の修理は全て実費とさせていただきます。

製品付属の真空管以外の真空管を使用された場合の故障は保証対象外とさせていただきます。
真空管の電气的性能以外の印刷部分を含む外観上あるいは内部の構造等に関しては保証の対象外とさせていただきます。

トライオード純正以外の真空管交換によるアンプ本体および他の真空管、また接続された機器に与えた不具合に付きましては保証対象外とさせていただきます。

商品の不良・故障に起因する、商業上または資産上その他いかなる損害に対しても、損害賠償責任は負いかねますので御了承下さい。

業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷。

接続および操作方法

XLRバランス接続について

本機のXLRバランス入力端子の内部回路はバランス回路ではありませんので接続する入力機器のバランス回路を本機で継承することはできません。通常のRCAアンバランス回路と同等と考えて下さい。

本機のXLR端子は2番ホット、3番オープン（接続なし）、1番グラウンドです。

- 1) 開梱しましたら真空管ボンネットの左右を持って上方に引き上げて取り外します。真空管に被っている4本のクッション材を取り出します。真空管がまっすぐささっているか確認し真空管ボンネットを元通りかぶせます。
- 2) OUTPUTターミナルにスピーカーケーブルを接続します。0Ω端子にはスピーカーからのマイナス端子を接続します。プラス側は対応のインピーダンスに接続しますが6Ωスピーカーは8Ω端子に接続して下さい。
- 3) 電源ケーブルを接続します。

*御注意 レコードの再生には別途フォノイコライザーが必要です。

プリメインアンプとして使用する場合

- 1) RCAターミナルにはあらかじめ保護キャップがかぶせてありますので使用するときは外してください。入力端子にはLINE 1, LINE 2, LINE 3、バランス(XLR)があります。それぞれの端子にCDプレーヤー等からのケーブルを接続します。バランス(XLR)ケーブルを使用する場合は後部バランス切替スイッチがBalance Line-in(下側)になっているか確認します。
- 2) 音量ボリュームは本体またはリモコンで操作します。
- 3) 入力セレクターは本体またはリモコンで操作します。
※本体のセレクターで入力を切り替える場合はノブを右回しで切り替えて下さい。左回しで切り替えるとPRE-INからLINE 3に切り替わる時にスピーカーから‘パチ’ノイズが出る場合があります。
- 4) 音量ミュートはリモコンのみで操作します。
ミュート中はボリュームノブ内の青色LEDとセレクターポジションの緑色LEDが点滅します。

パワーアンプとして使用する場合

RCAケーブルを使用する場合

- 1) P R E - I N端子にプリアンプからのケーブルを接続します。
なおプリアンプからのケーブルはノイズを拾いやすいので1 m以内のケーブルの使用をお勧めします。
- 2) セレクターつまみをP R E - I Nに回します。
- 3) 本機の音量ボリュームは使用できませんのでプリアンプの音量ボリュームを使用します。

* P R E - I N位置に回す場合はP R E - I N端子につながっているプリアンプの電源を切るかボリュームは最小にしておいて下さい。プリアンプのボリュームを絞っていないと大きな信号が入力される場合があります、スピーカーを破損することがありますので御注意下さい。

バランス (X L R) ケーブルを使用する場合

- 1) バランス (X L R) ターミナルにプリアンプからのバランス (X L R) ケーブルを接続します。
- 2) セレクターつまみをB A L A N C Eに回します。
- 3) 後部バランス切替スイッチをB a l a n c e P r e - i n (上側) へ倒します
- 4) 本機の音量ボリュームは使用できませんのでプリアンプ側の音量ボリュームを使用します。

* P R E - I N位置に回す場合はP R E - I N端子につながっているプリアンプの電源を切るかボリュームは最小にしておいて下さい。プリアンプのボリュームを絞っていないと大きな信号が入力される場合があります、スピーカーを破損することがありますので御注意下さい。

バイアス調整方法

8 4 5 真空管を交換した場合はバイアス調整が必要です。6 S N 7 / 2 A 3 真空管を交換の場合はバイアスの調整は必要はありません。

<調整の際は先の細いマイナスイドライバーが必要です。>

なおセラミックドライバーの様な電氣的に絶縁されたドライバーを御使用下さい>

- 1, バイアス切替スイッチを調整する側へ倒します。

バイアスチェック用切替スイッチの場所はシャーシ上部中程手前にあります。

スイッチは通常は真ん中 (O F F) にしておきます。バイアスチェックの時、左側の8 4 5 真空管をチェックする場合は左 (V 1) 側に倒します。右側の8 4 5 真空管をチェック する場合は右 (V 2) 側に倒します。



- 2, バイアスマーターを見ながらバイアス調整つまみを回してバイアス値を7 0 m A (左から7番目の目盛) に合わせます。

バイアス調整つまみはシャーシ上部にあります (L 側は8 4 5 真空管左側、R 側は真空管右側)

左に回すとバイアス値が減ります、右に回すとバイアス値が増えます。

調整の時はゆっくり回して下さい。



バイアスマーターはフロントパネルにあります。目盛りは10目盛りあり、一番左が0mA、一番右が100mAです。設定値は70mA（左から7番目の目盛り）です。

ハムバランスについて

＜調整の際は先の細いマイナスイドライバーが必要です。＞

なおセラミックドライバーの様な電氣的に絶縁されたドライバーを御使用下さい＞
845真空管は直熱3極管のため、845真空管を交換した時にハムバランスの調整が必要になる場合があります。ハムバランスの位置はバイアスつまみの後ろ側です。スピーカーからハム音が聞こえる場合に、このボリュームを左右にゆっくり回しハム音が一番小さくなる位置で止めます。



TRV-845SE仕様

この規格値は正常に動作している場合の値であり、真空管のバラツキなどの要因で変動するため保証値ではありません。

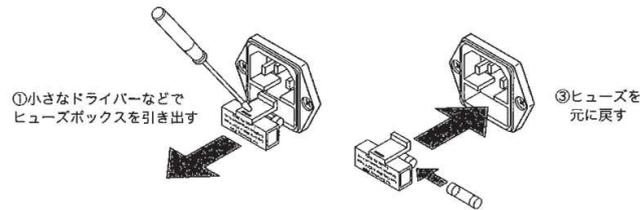
最大出力	: A級20W+20W
SN比	: 89dB以上
歪率	: 0.1%以下
入力感度	: 0.9V
出力端子	: 4Ω、8Ω、16Ω
周波数	: 10Hz ~ 50kHz -1dB
使用真空管	: 845×2本、2A3×2本、6SN7×2本
消費電力	: 300W（定格電力）
付属品	: 電源コード、真空管ボンネット、リモコン
サイズ	: W460mm×D440mm×H260mm
重量	: 41kg

< 製品についてのご注意 >

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。
一般家庭用以外（たとえば飲食店等でのBGMなど営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用、野外での使用など）に使用しないでください。
一般家庭用以外の使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

ヒューズ交換

AC電源ソケット内の下側のヒューズホルダーをマイナスドライバーで開けます。
ヒューズは125V(または250V)タイムラグ型T8Aを使用して下さい。



リモコンの電池交換

リモコンの手前側のプレートのネジを付属のレンチで外します。
中のクッションを外しますと電池ボックスが見えてきます。
付属のレンチの先で引っかけて電池ボックスをゆっくり手前に引き出し電池交換します。
電池は単四形電池2本です。終わりましたら元通り組み上げます。



スペアパーツ

845真空管(中国製)	1本	¥20,000(税別)
2A3真空管(中国製)	1本	¥20,000(税別)
6SN7真空管(中国製)	1本	¥2,800(税別)